

ベビーシッター研修(居宅訪問型保育研修)の講義内容と講師一覧

科目	実施方法	時間(分)	講義内容	講師候補(敬称略)
① 居宅訪問型保育の概要	eラーニング	60	・児童家庭福祉における居宅訪問型保育の社会的背景、経緯、歴史 ・居宅訪問型保育の実態 ・居宅訪問型保育の事業概要 ・地域子ども・子育て支援事業における居宅訪問型保育の展開 ・居宅訪問型保育の有効性と課題	ポピンズ国際乳幼児教育研究所 主任研究員 宮田 倫子
② 乳幼児の生活と遊び	eラーニング	60	・子どもの発達と生活 ・子どもの遊びと環境 ・人との関係と保育のねらい・内容 ・子どもの一日の生活の流れと役割	元東京加瀬大学講師 NPO法人コードモ/ミカタ理事 井桁容子
③ 乳幼児の発達と心理	eラーニング	90	・発達とは ・発達時期の区分と特徴 ・言葉とコミュニケーション ・自分と他者 ・手の働きと探索 ・移動する力(移動運動) ・ところと行動の発達を支える保育者の役割	日本体育大学 准教授 齊藤 多江子
④ 乳幼児の食事と栄養	eラーニング	60	・離乳の進め方に関する最近の動向 ・栄養バランスを考えた幼児期の食事作りのポイント ・食物アレルギー ・保育者が押さえる食育のポイント	相模女子大学教授 堤ちはる
⑤ 小児保健Ⅰ	eラーニング	60	・乳幼児期の健康観察のポイント ・発育と発達(母子健康手帳、予防接種について) ・衛生管理・消毒について ・薬の預かりについて	東京都市大学人間科学部 特任教授 小児科医 草川功
⑥ 小児保健Ⅱ	eラーニング	60	・子どもに多い症例とその対応 ・子どもに多い病気(SIDS等を含む)とその対応(ガイドライン類の周知) ・事故予防と対応	東京都市大学人間科学部 特任教授 小児科医 草川功
⑦ 心肺蘇生法【実技】	集合	120	・心肺蘇生法、AED、異物除去法等(実践を身につける)	L.S.F.A-Children's CPR認定講師 彦坂康朗
⑧ 居宅訪問型保育の保育内容	eラーニング + 演習(ZOOM)	120	・居宅訪問型保育を利用する家庭(子ども、保護者)のニーズ ・居宅訪問型保育の特徴 ・居宅訪問型保育における配慮事項 ・居宅訪問型保育の実際 ・居宅訪問型保育における計画と記録	純真女子大学教授 小泉 左江子 + 演習 榎ポピンズ
⑨ 居宅訪問型保育の環境整備	eラーニング	60	・保育環境を整える前に ・居宅訪問型保育に必要な環境とは ・環境のチェックポイント	NPO法人 Safe Kids Japan 理事長 小児科医 山中龍宏
⑩ 居宅訪問型保育の運営	eラーニング	60	・居宅訪問型保育の業務の流れ ・保育中の注意事項 ・記録、保護者への報告 ・事業所及びコーディネーターへの連絡、チームワーク ・居宅訪問型保育者のマナー ・リスクマネジメントと賠償責任	(株)ポピンズプロフェッショナル
⑪ 安全の確保と リスクマネジメント	eラーニング	60	・子どもの事故 ・子どもの事故の予防・保育上の留意点 ・緊急時の連絡・対策・対応	NPO法人 Safe Kids Japan 理事長 小児科医 山中龍宏
⑫ 居宅訪問型保育者の 職業倫理と配慮事項	eラーニング + 演習(ZOOM)	90	・職業倫理 ・自己管理 ・地域との関係 ・保育所やさまざまな保育者との関係 ・居宅訪問型保育者の役割	講義 元東京家政大学 教授 元ACSA理事長 網野武博 + 演習 榎ポピンズ
⑬ 居宅訪問型保育における保護者への対応	eラーニング	90	・居宅訪問型保育における保護者支援の必要性 ・さまざまな家庭における家族との関わり方 ・居宅訪問型保育における子育てアドバイス ・保護者への対応	関西大学教授 山縣文治
⑭ 子ども虐待	eラーニング	60	・子ども虐待への関心の高まり ・子ども虐待とは ・子ども虐待の実態 ・虐待が及ぼす影響 ・子ども虐待の発見と通告 ・虐待を受けた子どもに見られる行動特徴 ・子どもが家で虐待を受けたと思われたならば ・不適切な関わり方を防ぐために	淑徳短期大学教授 佐藤まゆみ
⑮ 特別に配慮を要する子どもへの対応 (0から2歳児)	eラーニング	90	・気になる行動 ・気になる行動をする子どもの行動特徴 ・気になる行動への対応の考え方 ・気になる行動の原因とその対応 ・居宅訪問型保育者の役割 ・遊びを通して、子どもの発達を促す方法	東京立正大学短期大学教授 前嶋 元
⑯ 実践演習	eラーニング + ZOOM	300	・居宅訪問型保育の実際(DVD視聴) ・実践を想定した演習 ・グループ討議	保育養成校教員 + (株)ポピンズプロフェッショナル
⑰ 小児保健Ⅲ	eラーニング	90	・病児・病後児対応 ・各症状に応じた、具体的な対応方法(観察のポイントや各症状に対するケア、処置のほか、最終的に受診を必要場合はどのような場合かの見分け方のポイントも学ぶことで、容態の急変にも対応できるようにする。)	東京都市大学人間科学部 特任教授 小児科医 草川功
⑱ 特別に配慮を要する子どもへの対応 (3から5歳児)	eラーニング	90	・気になる行動 ・気になる行動をする子どもの行動特徴 ・気になる行動への対応の考え方 ・気になる行動の原因とその対応 ・居宅訪問型保育者の役割 ・遊びを通して、子どもの発達を促す方法	千葉大学 名誉教授 富田久恵